

## 「BTの問いを吟味しよう」論述課題解説

### ★学校周辺は、滋賀県は、日本は、どんな地域なのだろう？

初めの問いと比べて、どのように変わりましたか？ どのように深めることができましたか？ 地理で学んだことをもとに説明しましょう

### 評価基準

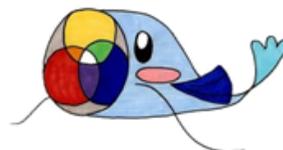
評価	主体的に学習に取り組む態度
S	BT での問いについて、学習で学んだことを使って深めたことが理由の論述に表れ、問いも具体的に深まっている。
A	BT での問いについて、学習で学んだことを使って深めたことが理由の論述に表れている。
B	BT での問いが学習後には変わってはいるが、学習で学んだことを使ったことが論述から読み取れない。
C 未提出	BT での問いについて考えられていない。

### 論述のポイント

担当者が変わって初めての論述課題でした。論述は、何を聞かれているのか、どのような条件で書くのかを確認することが大切です。今回の場合は、「初めの問いと比べて、どのように変わりましたか？ どのように深めることができましたか？」について、「地理で学んだことをもとに説明しましょう」という条件がありますから、地理で学んだことが論述中に出てこないといけません。がんばって書いていても、問いの理由だけを書く、いわゆる「BTのベースルーム調査」の答えのようなだけでは、「A」評価にできません。

「B」や「C」だった人は、もう一度書き直して再提出することができます。今一度、条件と照らし合わせて自分の論述を振り返ってください。

裏面に、「S」評価だった人のものを紹介します。参考にしてください。→



(A組)

B Tのはじめの問い  
滋賀県と他府県の観光客数の比較



B Tで提案したい問い  
滋賀県に来る観光客の目的は？ 大阪や京都と比べて

滋賀県は、高速道路があるなど、交通の便が良い県だと分かりました。しかし、大阪や東京などのようにテーマパークがあったり、京都みたいに昔、都が置かれていたりした場所ではないのに、滋賀県に観光客が来るのかなど、目的を知るといふ問いになりました。観光客という視点は変わりませんが、観光客が道なのか、という視点に変わりました。

(B組)

B Tのはじめの問い  
信楽焼はなぜタヌキが多いのか。いつできたのか。



B Tで提案したい問い  
街道や水運などから来た文化にはどのようなものがあり、どんな共通点や特徴があるのか。

地理で、滋賀県は街道が通っていたから栄えたということを知った。栄えたということから東京(江戸)や大阪などの文化が入ってきたと解釈した。そこで最初はテーマが信楽焼で、文化は文化だったけれど、街道がもたらしたかが分からなかったので問いを変形させて、信楽焼も含め、交通の便が良かったことによる文化について調べようと思った。またこれからの滋賀県の交通についてもからめたい。

(C組)

B Tのはじめの問い  
琵琶湖の水質は採取する場所で違うのだろうか。



B Tで提案したい問い  
琵琶湖の水質は南湖と北湖でなぜ違うのだろうか。  
また、これから先赤潮とアオコが出ることはあるのだろうか？

私は地理で南湖と北湖の水質が違うことを知りました。習うまでは、「違うのだろうか」という問いで、それ以上深く探れなかったけれど、「水質は違う」と習ってから「なぜちがうのだろうか」とはじめの問いを深めることができた。また、昔は赤潮とアオコ問題が深刻だったことから、これから先はどうなるだろうと疑問を持ち、問いに追加した。